

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です
プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	concTRT後CDDP+DTX
診療科名	呼吸器内科
診療科責任者名	金子 教宏
適応がん種	進行NSCLC*
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	NSCLC-22
登録日・更新日	2008年7月16日
削除日	
出典	
入力者	安室 修

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名	規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1	タキソテール	20mg,80mg	60mg/m ²	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> IVHポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	1時間	Day1
	生理食塩液	250mL				
No.2	シスプラチン	10mg,50mg	80mg/m ²	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> IVHポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	2時間	Day1
	生理食塩液	500mL				

1コースの期間	21-28日
投与間隔の短縮規定	<input type="checkbox"/> 短縮可能(日) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

記入者	安室 修
確認者	三沢 昌史

減量・中止基準	シスプラチン BUN \geq 25mg/dL クレアチニン \geq 1.5mg/dLのとき投与不可 タキソテール ANC $<$ 2,000/mm ³ のとき投与延期
前投薬	グラニセトロン3mg デキサメタゾン
その他の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・CDDP+DTX+concTRT後に3週間の休薬をおいて実施 ・*根治的放射線照射が可能な場合(StageⅢBの癌性胸水・癌性心嚢水貯留例、StageⅣなど) ・1st line PS 0~1かつ年齢70歳未満 (年齢70歳以上75歳未満 PS 0~1の患者は主治医の判断に拠る) ・癌性胸水・癌性心嚢水を認める例においては、全身化学療法前に局所療法(ドレナージ後に胸膜癒着術・心膜癒着術)を可能な限り施行する ・脳転移症例においては、全脳照射あるいは定位脳照射を可能な限り施行する ・シスプラチン投与前後にそれぞれ1,000~2,000mLの適当な輸液を4時間以上かけて投与する